

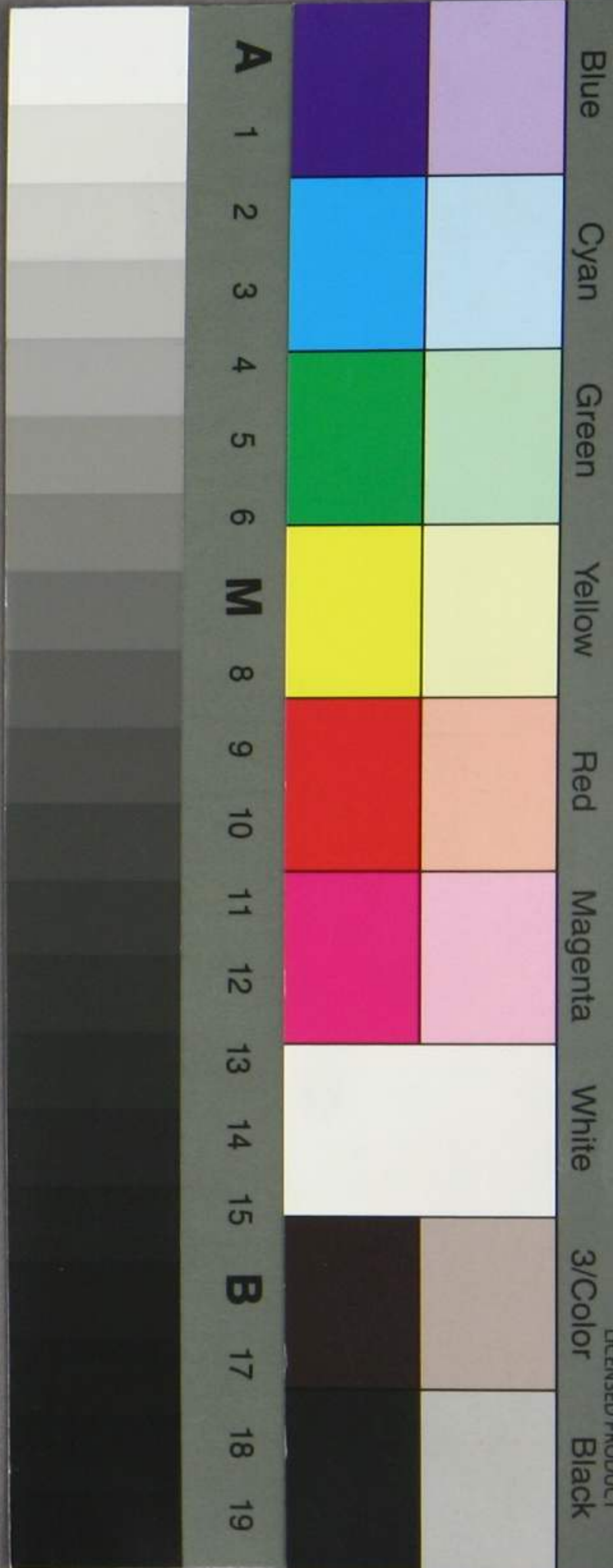
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128



敬
惜
帖

重文

洋学文庫
文庫8
A 403



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black

藏惜帖

3860

昭和廿三
十月十二日



敬惜粘

昭和廿三
十一月十二日

先考在都下四十餘年
其間所交自公侯大人以
至士庶門生殆千餘人
是以其汲也其平者累日
不絕其不能自至者馳
書乎之亦不數百通家
兄不恐作之糊窓之自乃
存一二於百中粘接以為



存一二於百中始接以為
一矣嗚呼世之孝亡亦卒
解之入乎之亦不過尋常
甲問語合如此卷七人
痛惜之情溢于紙表然
則僅之數簡亦足可想見
夫泰山梁木之類壞矣

丁亥年五月念六日

不肖 蒙 揮 淚

因憶支封老公

玄幹樞

卷六

冠山

尊大人少好象以龜生

每出叶以卒去之如

得之語以法高留

得之結、以然備
家上小子茂屬來
以文證然得少也
早建以而向以宗法
院以括香集端以
有亦以行以今於熱
象未多極外中難
致者本音隨也此
軋果一箱以者
以備其
所所禱



既以禱每以
少法不具

四三十四

少堂夕初日
以是道

以憑
以令身西

法為
以殘念

象
以制中
折角

法自
當之

茶名
若公
出翁
若臣

大觀
玄軒
以用
再柳
元

似
手
成
智
上
法
作
名
在
為



以是成望上法

口氣之氣

口氣之氣

言法

家

求肥

右

中

以

以

月

別

先

第

占



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a letter or document. The text is densely packed and runs vertically across the page. The characters are highly stylized and interconnected, characteristic of the cursive script. The text is written on a light-colored, aged paper background.

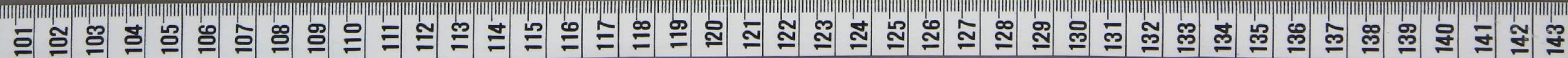
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143

し
て
い
は
す

心

心
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば

こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば
こ
の
こ
ろ
に
あ
ら
は
し
め
ば



101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho). The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and fluid, characteristic of the cursive script. Some legible characters include '中' (middle), '後' (back), '長' (long), '刻' (engrave), '少' (little), '致' (reach), '得' (obtain), '女' (woman), '信' (faith), '少' (little), '致' (reach), '得' (obtain), '女' (woman), '信' (faith).

長刻

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho). The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and fluid, characteristic of the cursive script. Some legible characters include '中' (middle), '後' (back), '長' (long), '刻' (engrave), '少' (little), '致' (reach), '得' (obtain), '女' (woman), '信' (faith), '少' (little), '致' (reach), '得' (obtain), '女' (woman), '信' (faith).

長刻

中ノ巻ノ終ニ
シテ
長壽寺ノ
三輪ノ
終ニ

依嘉世子傳

大槻玄粹撰 古原清經

西ノ法海抄ノ作也

古今ノ事ノ所由

ノ事ノ始末ヲ述ベ

テ法海ノ中ノ事ヲ

述ベテ其ノ終ニ

至リテ其ノ終ニ

至リテ其ノ終ニ

至リテ其ノ終ニ



高而平法原上名

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

四月十日。

郡山徳官

大槻玄幹抄花鳥巻

昨日之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法

身好之千法之法



海峽を以て一曰櫻

花の如く傳はるる

所病中の深き所也

中々如く省本之

口理多き久し十條

坊坊大押に到深

深抄七口海多に愁

痛しとて此山に早感

了とて在る先の如く

三の如く多しとて

口口口口

甲申七月

為の樂式也

名を如く其如く

可く

江戸市

大祝玄解撰

文角山向

山橋中



久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

暮春有雪官

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

久月有月一女子候也

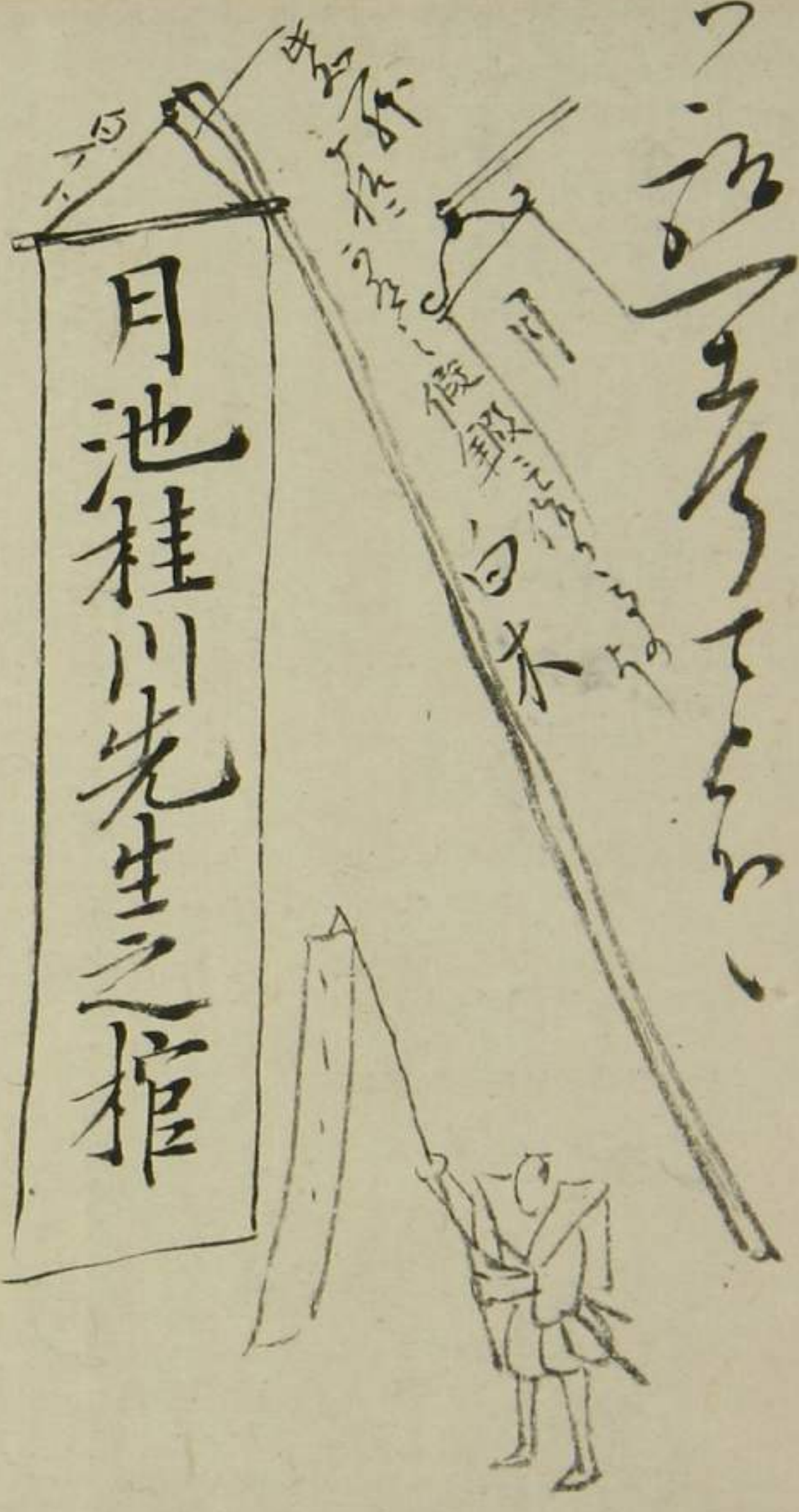
久月有月一女子候也



月也桂川先生之権

交わらぬとて終る

つゆもく



月池桂川先生之推

紅絹毛の幅曲尺三尺二寸許長六尺

半の白粉蛤粉と認

百葉一巻と認

一巻と認

之場一先

の

一

水紙 伸長五尺七寸四

一

板一寸

一

一

一

本々蒲巻子歌

了

一

家康公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書

山崎闇斎公御書



海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

海軍大臣 東郷平八郎

一、此處之字、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、

之、



頃

尺系丸柳麻尾菜一葉

少内證の正書しるる為

持ふる玉の山 少内抄の書

之の正書 少内抄

正 少内抄の正書

二月十九日

長門 醫官 浪華 徳春

三月晦春末の節

只今春末の身の色

光生年去心す

付るは名馬し

病入下りし

此自出心りる

又今より文書

去るより後

よの事



去冬之遊、以後、
よ、
平之、
芳、
亦、
丁、
吾、
御、
也、
心、
、
平、
、
、



平之腹、与治也、

即分治、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、

平之腹、与治也、



女之病醫

一 幸啓上仕准

老先生吊儀 初善、吊持病

、吊病積、吊之例、本吊望

上己心、吊候方、本積、

本後、吊再祭廿六日、吊傷食

、吊病種、本度、吊吐、本

在、昼在、吊苦痛、地晦日

卯、下刻、吊易、養、本種、本

吊計、聞、當、十二日、夕七時、注見

純、本種、本誓、入、本、吊哀痛

本、本種、本誓、上、本、吊病積、

吊病種、兼、本誓、本、本得、

全、吊持、病、吊儀、暖、和、本

本、本種、吊全、候、本、本、

而、本種、本、本、本、本、

多年、本種、本、本、本、本、

本、本種、本、本、本、本、

本、本種、本、本、本、本、

本、本種、本、本、本、本、



為天... 一... 亦看為也

不仕罪底主極今文... 上

指... 亦望其... 奉吳泣

誠... 亦老寸哀... 解事備

薄奠

亦靈前... 亦備... 亦備

亦... 亦... 亦

亦惣... 亦... 亦

亦... 亦... 亦

申上... 亦... 亦

一十日亦祭十三日亦... 亦

思... 亦... 亦

終日大雨... 亦... 亦

亦地... 亦... 亦

上... 亦... 亦

亦... 亦... 亦

慟哭... 亦... 亦

亦... 亦... 亦

亦... 亦... 亦



尊前様 去書 結接の如

你蒙 帛在勤中、申

遠方、帛意、不純、帛意、

帛意、

平次帛様、帛意、

帛意、の如、帛意、素菴、

帛意、の如、帛意、未帛、帛意、

帛意、の如、帛意、且、帛意、

未帛、帛意、の如、重訂、帛意、

去秋、帛上、帛意、帛意、

帛上、帛意、の如、先、

帛意、の如、帛意、帛意、

去國、帛意、帛意、帛意、

帛意、の如、帛意、

帛意、の如、

長吉川宗徳

帛意、

四月十六日

去幹様

帛意、



玄幹様

昔次

一蘭醫員

老をいささか(世に)記す

身より悼人の可事也

の非事申す徳の又

さかちしむ向中さ

いふはさあふさあ

さかちしむさあ

身情一れこ為さし

さかちしむの解さ中

あ敢さむ向中

此多徳

此致中

いささか(世に)記す

あさあさ向人の可事也

其概すはあさあ

あさあさ向人の可事也

さかちしむ向人の可事也

いささか(世に)記す

あさあさ向人の可事也

いささか(世に)記す

あさあさ向人の可事也



方板富商

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡

御家文之海鏡



敬啟者

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、



大
玄
符
之
氣
也
也

101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143